

平成27年度病害虫発生予察指導情報

(ナシ・ハダニ類)

平成27年12月14日
鳥取県病害虫防除所

1. 情報の内容

- (1) 県内巡回定点におけるカンザワハダニの越冬量は、1バンドあたり平均0頭（前年：52.0頭、
平年：5.9頭）で、平年より少ない。
- (2) ナミハダニの越冬量は1バンド当たり0.1頭（前年：0.5頭、平年：0.1頭）で平年並であ
った。
- (3) クワオオハダニの休眠卵数は1短果枝当たり0.3個（前年：0.5個、平年：3.7個）と前年
並で平年より少ない。

表1 ナシにおけるハダニ類の越冬密度

調査地点	カンザワハダニ（成虫）			ナミハダニ（成虫）			クワオオハダニ（越冬卵）			
	本年	前年	平年 ¹	本年	前年	平年 ¹	本年	前年	平年 ¹	
東部	鳥取市 佐治町	0	0	0.2	0	0	0.0	0	0	4.9
	鳥取市 青谷町	0	0	0.5	0	0	0.0	2.1	0	0.4
	八頭町	0	385.8	38.8	0	4.4	0.4	0	0	1.5
中部	倉吉市 中野	0	0.2	0.0	0	0	0	0	0	0.8
	湯梨浜町 別所	0	0	2.3	0.7	0	0.1	0.1	3.5	2.4
	北栄町 由良宿	0	0	0.7	0	0	0	0	0	11.3
	琴浦町 竹ノ内	0	82.3	9.4	0	0	0.0	0.2	1.0	6.3
西部	大山町 坪田	0	0	0.5	0	0	0	0.4	0	1.1
	南部町 朝金	0	0	0.9	0	0	0.0	0	0	4.6
県平均		0	52.0	5.9	0.1	0.5	0.1	0.3	0.5	3.7

¹：平年はH17～26年の平均値

調査方法：9月に紙バンドをほ場に設置。園あたり6バンド（1樹3バンド、2樹設置）
12月に紙バンドを回収後、バンドあたりのカンザワハダニ及びナミハダニ越冬個体数を調査。
同時に園あたり40短果枝を採取し、短果枝あたりのクワオオハダニ越冬卵数を調査。

2. 防除上注意すべき事項

秋期にハダニ類の発生密度が高かった園では、越冬量が多いと予想されるため、休眠期の防除を徹底する。カンザワハダニ及びナミハダニには(1)～(3)、クワオオハダニには(3)が有効である。

(1) 誘殺バンドの取りはずし

主枝や亜主枝に誘殺バンドを設置している園では、12～2月にバンドを取りはずして処分する。

(2) 粗皮削り

12～2月に、カンザワハダニやナミハダニの越冬場所である粗皮を削り取る。特に、誘殺バンドを巻き付けた部分の粗皮は必ず削り取っておく。

(3) 薬剤散布

3月中旬に、マシン油乳剤（ハーベストオイル）50～100倍液を散布する。